

令和8年度 さいたま市立馬宮中学校 理科 シラバス

<h3>理科の目標</h3>	
<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</p>	<h3>評価の観点等</h3> <p style="text-align: center;">評価の観点</p> <p>①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度</p>
<h3>学習の特色</h3>	
<p>理科という教科は、観察・実験があるため、5教科の中でもとりわけ実技系教科に近い性質があり、テストの点数に加え、観察・実験の評価も合わせて成績の判断とします。そのため、レポートの内容や実験器具の操作等も評価材料となります。</p> <p>各学年で「生命」に関する単元、「地球」に関する単元、「物質」に関する単元、「エネルギー」に関する単元があります。また理科は他教科の内容を幅広く扱うことも多く、特に数学、社会、技術・家庭科、保健体育、美術など、様々な教科の内容を取り扱う事も多い教科です。そのため理科を学習することで、他教科の内容も深く理解することができることが多いのも特徴と言えます。</p> <p>理科は「疑問」から成立した教科です。常に「疑問」をもって、自分なりに考え、観察・実験を通して結果をまとめ、発表できるような能力の育成を目指しています。その際、ICTを活用し、観察・実験結果を可視化、共有化する授業も展開します。</p> <p>授業は、1年生は週3時間、2・3年生は週4時間行われます。</p>	<p>①知識・技能 ○身のまわりの自然や物質、現象などについて知識を習得し、それを利用する事ができるとともに、観察・実験を適切に行い、結果をまとめることができる。 ☆主にテスト・観察・実験レポート等</p> <p>②思考・判断・表現 ○身のまわりの自然や物質、現象などがどのような仕組みでそうなっているかを予想し、観察・実験で得た結果をもとに規則性を見付けて、表現することができる。 ☆主にテスト、観察・実験レポート等</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ○身のまわりの自然や物質、現象などについて、積極的に取り組む姿勢を持つとともに、習得した学習内容を自ら活用できるようにすることができる。 ☆主に授業ノート、レポート、ワーク、授業の発言や様子等</p> <p style="text-align: right;">評価規準：○ 評価方法：☆</p>

